

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社ダイキアキス 上場取引所 東  
 コード番号 4245 URL <http://www.daiki-axis.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部長 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	9,407	3.9	562	51.4	575	27.5	350	10.9
28年12月期第1四半期	9,057	△4.1	371	△16.7	450	△5.8	316	10.7

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 363百万円(45.4%) 28年12月期第1四半期 249百万円(△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	57.97	—
28年12月期第1四半期	52.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	21,558	6,461	30.0
28年12月期	20,023	6,189	30.9

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 6,461百万円 28年12月期 6,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	20.00	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年4月21日開催の取締役会において、平成29年7月1日を効力発生日とする普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議いたしました。平成29年12月期(予想)の期末配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の平成29年12月期(予想)の期末配当金は20円となります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,016	6.3	647	35.6	681	14.5	417	12.0	69.03
通期	34,400	4.8	1,150	23.5	1,350	18.8	850	31.1	140.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	6,204,400株	28年12月期	6,204,400株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	152,900株	28年12月期	154,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	6,050,115株	28年12月期1Q	6,041,700株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に雇用・所得環境や企業収益の改善がみられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、欧米を中心に回復しておりますが、米国新政権の政権運営、欧州の政治情勢及び新興国経済の成長鈍化など不透明な状況にあります。

このような状況のもと、平成28年度から平成30年度の中期経営計画「V-PLAN60」において、当連結会計年度を「HOP - STEP - JUMP」のSTEPの年として、HOPの年の戦略を引き続き強化していくとともに、JUMPの年につながる取り組みを開始いたしました。

全般的には将来の収益及び利益確保に重点を置き、環境機器関連事業セグメントにおいては、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水事業におけるエスコ収入、海外における営業強化、また、住宅機器関連事業セグメントにおいては、基本に忠実な営業スタイルを徹底するとともに新規顧客の開拓に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は94億7百万円(前年同期比103.9%)、営業利益は5億62百万円(前年同期比151.4%)、経常利益は5億75百万円(前年同期比127.5%)でありましたが、特別損失において減損損失15百万円(上水プラント(大分県大分市)の採算悪化に伴う減損処理)などを計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億50百万円(前年同期比110.9%)という結果でありました。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

## (環境機器関連事業)

浄化槽排水処理システムは前年同期と比べ大幅に増加いたしました。内、海外売上高については大型案件の完成により前年同期より大幅に増加し、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業については前年同期と比べ堅調に推移いたしました。また、もう一つのストックビジネスの上水事業エスコ収入については前年の上水供給量の減少課題を一つずつ解決している過程ではありますが前年同期と比べ堅調な推移となりました。

これにより、売上高は52億79百万円(前年同期比120.5%)、セグメント利益(営業利益)は6億21百万円(前年同期比186.8%)となりました。

## (住宅機器関連事業)

建設関連業者売上は全般的に顧客開拓が進み、前年同期と比べ堅調に増加いたしました。ホームセンターリテール商材は前年同期と比べやや減少いたしました。住機部門工事は前年同期と比べ外壁工事の減少により大幅に減少いたしました。

これにより、売上高は39億83百万円(前年同期比88.9%)、セグメント利益(営業利益)は1億66百万円(前年同期比80.9%)となりました。

## (その他)

クリクラ事業については気候の影響もあり前年同期と比べやや減少いたしました。BDF関連事業についてはBDFプラントの販売が無かったために前年同期と比べ大幅に減少いたしました。小形風力発電機関連事業においては当第1四半期連結累計期間及び前年同期ともプラント販売はありませんでした。

これにより、売上高は1億44百万円(前年同期比74.2%)、セグメント損失(営業損失)は4百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)16百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産については、流動資産が151億33百万円(前年度比104.2%)、固定資産が64億24百万円(前年度比116.7%)となり、資産合計は215億58百万円(前年度比107.7%)でありました。主な内訳は、現金及び預金45億30百万円、受取手形及び売掛金59億69百万円、完成工事未収入金23億99百万円、土地17億17百万円であります。

負債については、流動負債が133億72百万円(前年度比108.7%)、固定負債が17億24百万円(前年度比112.6%)となり、負債合計は150億96百万円(前年度比109.1%)でありました。主な内訳は、支払手形及び買掛金24億81百万円、工事未払金13億12百万円、短期借入金64億52百万円、長期借入金10億94百万円であります。

純資産合計は64億61百万円(前年度比104.4%)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月13日に公表いたしました平成29年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,430,268	4,530,033
受取手形及び売掛金	5,770,929	5,969,075
完成工事未収入金	2,559,044	2,399,243
商品及び製品	282,666	275,255
仕掛品	7,732	7,135
未成工事支出金	1,685,402	1,044,996
原材料及び貯蔵品	230,986	271,465
その他	576,126	681,818
貸倒引当金	△23,671	△45,825
流動資産合計	14,519,487	15,133,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,639,801	1,840,986
減価償却累計額	△444,685	△557,021
建物及び構築物(純額)	1,195,116	1,283,964
機械装置及び運搬具	1,879,421	3,368,118
減価償却累計額	△754,734	△1,867,802
機械装置及び運搬具(純額)	1,124,687	1,500,315
土地	1,462,143	1,717,644
建設仮勘定	138,629	180,813
その他	602,389	650,679
減価償却累計額	△407,921	△436,058
その他(純額)	194,468	214,620
有形固定資産合計	4,115,043	4,897,358
無形固定資産		
のれん	39,174	67,925
その他	45,137	45,818
無形固定資産合計	84,311	113,743
投資その他の資産		
投資有価証券	988,735	1,026,058
その他	486,683	557,012
貸倒引当金	△170,439	△169,337
投資その他の資産合計	1,304,979	1,413,733
固定資産合計	5,504,334	6,424,835
資産合計	20,023,821	21,558,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,000,756	2,481,696
工事未払金	1,586,583	1,312,481
短期借入金	5,366,913	6,452,515
1年内返済予定の長期借入金	526,748	700,532
未払法人税等	299,481	220,486
未成工事受入金	1,078,586	713,203
賞与引当金	228,658	170,158
引当金	145,201	82,973
その他	1,069,902	1,238,671
流動負債合計	12,302,832	13,372,720
固定負債		
長期借入金	1,017,437	1,094,162
引当金	143,992	147,074
資産除去債務	116,995	124,954
その他	252,966	357,989
固定負債合計	1,531,391	1,724,179
負債合計	13,834,224	15,096,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,290	1,983,290
資本剰余金	1,766,394	1,766,394
利益剰余金	2,286,184	2,543,869
自己株式	△151,238	△149,866
株主資本合計	5,884,629	6,143,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,000	361,931
為替換算調整勘定	△103,032	△44,483
その他の包括利益累計額合計	304,967	317,447
純資産合計	6,189,597	6,461,135
負債純資産合計	20,023,821	21,558,035

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,057,316	9,407,878
売上原価	7,414,948	7,530,958
売上総利益	1,642,367	1,876,920
販売費及び一般管理費	1,270,665	1,314,050
営業利益	371,701	562,870
営業外収益		
受取利息	413	662
受取配当金	161	277
仕入割引	37,793	40,281
保険解約返戻金	38,255	—
その他	26,292	11,322
営業外収益合計	102,916	52,544
営業外費用		
支払利息	13,959	9,989
貸倒引当金繰入額	△210	△257
支払手数料	8,481	20,685
その他	1,474	9,947
営業外費用合計	23,704	40,365
経常利益	450,913	575,049
特別利益		
固定資産売却益	29,634	—
その他	7,772	5
特別利益合計	37,406	5
特別損失		
固定資産売却損	1,087	—
減損損失	—	15,588
その他	—	613
特別損失合計	1,087	16,202
税金等調整前四半期純利益	487,232	558,852
法人税、住民税及び事業税	126,860	204,489
法人税等調整額	44,016	3,611
法人税等合計	170,876	208,101
四半期純利益	316,356	350,751
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,356	350,751



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	316,356	350,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,773	△46,069
為替換算調整勘定	25,194	58,549
その他の包括利益合計	△66,578	12,479
四半期包括利益	249,777	363,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,777	363,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、中期経営計画「V-PLAN60」に掲げる施策の1つである「海外展開の加速」に基づき、2016年にDAIKI AXIS SINGAPORE PTE. LTD. をシンガポールに設立する等、在外子会社における海外売上高等の重要性が今後さらに増加する見込みであることから、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	環境機器関連	住宅機器関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,381,154	4,481,079	8,862,233	195,082	9,057,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,919	656	5,575	84	5,660
計	4,386,074	4,481,735	8,867,809	195,167	9,062,976
セグメント利益又は損失(△)	332,641	205,742	538,383	16,704	555,088

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BDF関連事業、クリクラ事業及び小形風力発電機関連事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	538,383
「その他」の区分の損失(△)	16,704
セグメント間取引消去	31,528
全社費用(注)	△214,914
四半期連結損益計算書の営業利益	371,701

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	環境機器関連	住宅機器関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,279,513	3,983,703	9,263,216	144,662	9,407,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,977	2	2,980	42	3,022
計	5,282,491	3,983,705	9,266,196	144,704	9,410,901
セグメント利益	621,283	166,378	787,662	△4,364	783,297

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BDF関連事業、クリクラ事業及び小形風力発電機関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	787,662
「その他」の区分の利益	△4,364
セグメント間取引消去	31,859
全社費用(注)	△252,287
四半期連結損益計算書の営業利益	562,870

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結会計期間における当該減損損失の計上額は、15,588千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社岸本設計工務の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めた事に伴い、「その他」セグメントにおいてのれんが29,692千円増加しております。なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。